

21世紀の日本のかたち（128）

2021年、秋から年末、
そして2022年へ



戸沼幸市

<（一財）日本開発構想研究所 顧問>

1. 日本の政治的状況

2021年の秋、10月31日、衆議院総選挙が行われました。自由民主党は公明党と合わせて3分の2の議席を確保し、第2次岸田内閣が発足しました。

立憲民主党は衆議院選挙の敗北を受け、枝野幸男代表が辞任し、11月30日に新しい代表選挙がなされました。立候補者4名、泉健太（47歳）、逢坂誠二（62歳）、小川淳也（50歳）、西村智奈美（54歳）の各氏の中で、旧国民民主党出身の泉氏が立憲民主党の新代表に選ばれました。立憲民主党は野党第一党としての存在感を示せるかが問われます。

写真1 立憲民主党の新代表に選出された 泉健太氏（右）



資料：朝日新聞 2021.12.1

第207回臨時国会が、12月6日～21日の日程で招集され、6日、岸田文雄首相が衆参両院の本会議で所信表明演説を行いました。

岸田首相所信表明演説（要旨） 12月6日

①はじめに

新型コロナウイルスを克服し、新しい時代を切り拓くという極めて難しい課題に、国民の皆さんと共に挑んでいく。

②コロナ克服・新時代開拓のための経済対策

- ・オミクロン株のリスクに対応するため、外国人の入国について、全世界を対象に停止する。
- ・今回、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」と命名し、総額55.7兆円の大規模な対策を行う。

③新型コロナウイルス対応

- ・第1 次の感染拡大を見据えた医療提供体制の確保。
- ・第2 ワクチン、検査、飲める治療薬の普及により、予防、発見から早期治療までの流れを抜本強化。
- ・第3 来年の6月までに、感染症危機などの健康危機に対応するための抜本的体制強化策をまとめる。

④経済回復に向けた支援

- ・経済的に困っている方々に様々なメニューを用意し、総額7兆円規模を投入する。
- ・事業者向けには、2.8兆円規模の給付金により、事業復活に向けた取組を後押しする。

⑤未来社会を切り拓く「新しい資本主義」

世界では、弊害を是正しながら、更に力強く成長するための、新たな資本主義モデルの模索が始まっている。我が国としても、成長も、分配も実現する「新しい資本主義」を具体化する。

⑥新しい資本主義の下での成長

1) イノベーション

- ・科学技術によるイノベーションを推進し、経済の付加価値創出力を引き上げる。
- ・10兆円の大学ファンドを年度内に創設する。

2) デジタル田園都市国家構想

- ・新しい資本主義の主役は地方。4.4兆円を投入し、地域が抱える、人口減少、高齢化、産業空洞化などの課題を、デジタルの力を活用することによって解決していく。

3) 気候変動問題

- ・2050年、カーボンニュートラル、2030年度の46%排出削減の実現に向け、再エネ最大限導入のための規制の見直し、クリーンエネルギー分野への大胆な投資を進める。

4) 経済安全保障

- ・サプライチェーンの強靱化、基幹インフラの信頼性確保、半導体国内立地推進などにつとめる。

⑦新しい資本主義の下での分配

- ・官と民が、共に役割を果たすことで、成長

の果実をしっかりと分配し、消費を喚起することで、次の成長につなげる。これが新しい資本主義を実現するための要。

⑧外交・安全保障

- ・「新しい資本主義」の前提は、国民の安全・安心、我が国の国益を守る外交・安全保障。

⑨災害対応

- ・強靱な国土づくりを進めるため、5ヶ年加速化対策に基づき、防災・減災、国土強靱化を強化する。東日本大震災からの復興には、地元の声に寄り添い、引き続き全力で取り組む。

⑩憲法改正

まず重要なことは、国会での議論。与野党の枠を超え、国会において、積極的な議論が行われることを期待する。

写真2 衆議院本会議で所信表明演説をする

岸田文雄首相



資料：朝日新聞 2021.12.7

新しい資本主義について

2020年代、コロナ禍の中、日本国家の政治を託された岸田文雄政権のキーワード「新しい資本主義」とは何か。成長と分配の好循環をもたらす「新しい資本主義」は、これまでの（古い？）資本主義とはどこが異なるのか。

岸田文雄首相は改めて日本の近代史の検証を求めているようにも思われます。

明治国家の成立 (1868～1912年 (明治元～45年))

大正時代 (1912～1926年 (大正元～15年))

昭和時代 (1926～1988年 (昭和元～63年))

太平洋戦争 (1941～1945年 (昭和16～20年))

平成時代 (1989～2019 (平成元～平成31年))

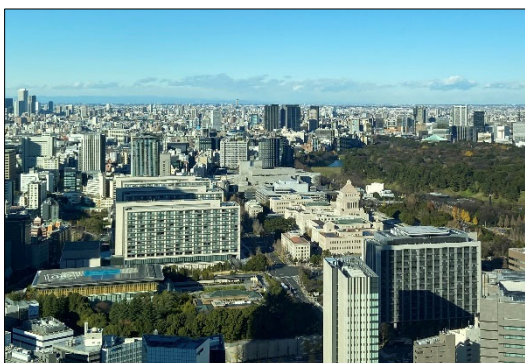
令和時代 (2019年～ (令和元～))

明治維新を出発点とする近代の日本国家は、世界の産業革命 (エネルギー革命) と並走して、資本主義を体現し、国家を成立運営してきたといえます。これに近年の情報革命が加わって、人、モノ、金のグローバル化が加速され、新しい資本主義を体現しつつあるという見方もできましよう。

岸田首相のいう「新しい資本主義」とはこの事態を指しているとも受け取れます。ただこれが「成長と分配の好循環」をもたらすのかという点では、難点も感じます。

戦後日本の経済成長は、一貫した人口増に支えられて実現したといえますが、ここに来て少子高齢化、非婚の増加などにより人口減に転じ、生産年齢人口の減少に直面しています。消滅を心配される地方の自治体も増えています。

写真3 ホテルオークラから国会議事堂、首相官邸、皇居



撮影：戸沼 2021.12.18

2020年代、日本の未来にはいくつもの難題、首都直下地震、南海トラフ地震などに対する「防災」、現在直面しているコロナ禍などに対する「防疫」、そして「防衛」があります。

岸田政権は国土計画分野について、「デジタル田園構想」を掲げています。2034年を目途に提案された、国連による「持続可能な発展」の筋書きも組み込んだ、国家、国土計画を腰を据えて描いて欲しいものです。

参考)『ポストコロナの持続可能な都市と国土』UED レポート2021年夏号 (一財)日本開発構想研究所

2. 新型コロナウイルス、オミクロン株の出現

今年、2021年末、新型コロナウイルスの新種、オミクロン株が世界大に広がりを見せています。WHO (世界保健機関) は、12月21日時点で106ヶ国・地域にオミクロン株が広がっていると報じていました。

日本でも11月30日、ナミビアから第三国を経て成田に入ったナミビアの外交官のオミクロン感染の第1号、続いて12月22日、大阪で渡航歴のない3人の方の市中オミクロン感染、続いて東京都でも12月24日、海外渡航歴のない感染経路不明の都内居住者のオミクロン株感染、京都府でも同日、市中オミクロン株感染例があったと報じられました。

日本において、年末、一時新型コロナウイルスの感染の勢いは下火になったかに見えますが、年末年始にかけて第6波ともいえるオミクロン株による強烈な感染拡大が起っております。沖縄、山口、広島 の3県には再びまん延防止措置がとられました。世界では1月7日、新型コロナ感染者が3億人を越えたと報じられています。

今年は3回目のワクチン接種が行われると

のこと。新薬の開発も合わせて、すっかりと取
まあって安心安全の社会になってほしいもので
す。

表1 世界の新型コロナ感染者

国	感染者	死者
米国	5938万8529	83万6603
インド	3536万8372	48万3463
ブラジル	2232万8252	61万9654
英国	1428万0941	15万0223
フランス	1162万3327	12万6202
ロシア	1043万7471	30万8258
トルコ	985万2458	8万3388
ドイツ	749万9776	11万3905
スペイン	716万4906	8万9934
イタリア	708万3762	13万8697
インドネシア	426万5187	14万4121
フィリピン	291万0664	5万1871
韓国	66万1015	5986
シンガポール	28万3214	835
中国	11万6282	4849
日本	174万7907	1万8396
世界計	3億0320万4268 (+288万6760)	547万9893 (+7199)

感染者の多い10カ国と、日本と往來の多い国。米ジョンズ・ホプキンス大の集計から。カッコ内は前日比。日本の数字は集計方法が異なるため、1面・社会面と一致しない

資料：朝日新聞 2022.1.10

表2 国内の新型コロナウイルス感染者

■新型コロナウイルス感染者(1月9日午後8時半現在)			
国内の確認 176万6941人(+8249)		死者 1万8403人(+1)	
感染者	死者	感染者	死者
北海道 62027 (+117)	1475	京都府 37047 (+215)	292
青森県 5957 (+17)	38	大阪府 207377 (+890)	3066
岩手県 3528 (+4)	53	兵庫県 79716 (+202)	1398
宮城県 16381 (+25)	118	奈良県 16051 (+66)	149
秋田県 1940 (+3)	27	和歌山県 5357 (+21)	62
山形県 3642 (+5)	56	鳥取県 1738 (+7)	5
福島県 9639 (+35)	176	島根県 1897 (+35)	5
茨城県 24787 (+75)	220	岡山県 15800 (+80)	136
栃木県 15930 (+41)	117	広島県 24453 (+619)	203
群馬県 17780 (+87)	178	山口県 6791 (+152)	93
埼玉県 117370 (+401)	1059	徳島県 3325 (+8)	66
千葉県 101654 (+252)	1028	香川県 4791 (+12)	38
東京都 387915 (+1223)	3175	愛媛県 5534 (+45)	82
神奈川県 171254 (+443)	1319	高知県 4198 (+8)	33
新潟県 8568 (+86)	63	福岡県 75543 (+211)	627
富山県 4913 (+12)	52	佐賀県 6057 (+49)	30
石川県 8118 (+18)	138	長崎県 6250 (+31)	73
福井県 3204 (+27)	38	熊本県 14577 (+61)	136
山梨県 5276 (+19)	29	大宮 8266 (+24)	84
長野県 9348 (+110)	97	宮崎県 6199 (+17)	41
岐阜県 19200 (+46)	219	鹿児島県 9611 (+108)	66
静岡県 27346 (+146)	209	沖縄県 57437 (+1533)	398
愛知県 108374 (+368)	1161	その他(空港検疫など)	6886人(+171) 死者8人
三重県 14924 (+42)	163		
滋賀県 12965 (+92)	104		
入院・療養中 2万3582人(+7027)	うち重症 90人(+1)		
退院・療養解除 171万5087人(+475)	(9日午前0時現在)		
総数 176万7664人(+8249)	死者 1万8416人(+1)		

総数にはダイヤモンド・プリンセス乗船者を含む。網掛けは「まん延防止等重点措置」の地域。カッコ内は前日最終集計との比較。都道府県と厚労省の発表は一部重複する。再陽性は延べ人数で計上

■ワクチン接種(8日、医療従事者は略。総接種数は年齢不明含む)			
	1回目	2回目	
総接種数	9434万0025(74.5%)	9355万4682(73.9%)	
高齢者	3306万2377(92.4%)	3293万4806(92.1%)	
64歳以下	6063万3936(66.7%)	6005万8418(66.1%)	

資料：朝日新聞 2022.1.11

3. 大阪、ビル放火、死者26人(容疑者含む)

暮れも押し詰まった12月17日午前10時20分、大阪市北区北新地の一角で悲劇が起きました。

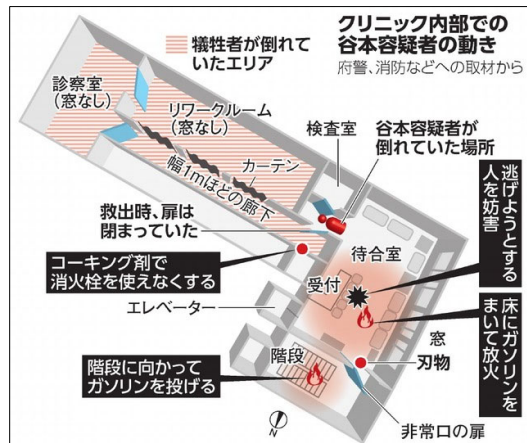
鉄骨鉄筋コンクリート8階建ての雑居ビル、「堂島北ビル」の4階にあった「西梅田こころとからだのクリニック」で放火事件が起き、27人が心肺停止、院長を含む25人死亡、続いて重篤であった犯人死亡の報が流れました。放火犯人は、クリニックで診察を受けていた谷本盛雄(61歳)と特定されています。動機は何であったのか。

事件の起きたビルは1970年建設、1~6階は各階90㎡、建物の構造はエレベーター、非常階段、出入口は1ヶ所、ここが塞がれて袋小路となり、クリニックに居合わせた人々は逃げようがなく、大きな悲劇が起きました。亡くなった方々の無念を改めて思います。

2年前の京都アニメーションのスタジオ放火、36人死亡、32人負傷。20年前の東京、歌舞伎町雑居ビル火災、44人死亡の事件と重なります。

事件が起きた背景と、密集市街地にある雑居ビルの安全対策、立地条件に見合った緊急避難路の確保など改めて問われる事態です。

図1 大阪ビル火災事件の現場



資料：朝日新聞デジタル 2021.12.23

4. 訃報

川嶋辰彦さん (81歳)

学習院大学名誉教授、秋篠宮妃紀子さまの父上、川嶋辰彦さんが11月4日死去されました。

私とは、エキスティックス (世界居住学会)、アーク都市塾のメンバーとしてお会いしており、毎年、年賀状を交換しておりました。

川嶋さんはNPO 法人「草の根国際協力研修プログラム」を立ち上げており、その活動の様子を毎年の賀状で知らせてくれました。昨年の賀状は、「ヒヒラギの葉の趣きは似たるなり、タイ山村の炉に立つ火は揺らぎ (たつ)」とあり、残念です。

瀬戸内寂聴さん (99歳)

今年11月9日、瀬戸内寂聴さん死去の報がありました。

2015年からこの10月まで、朝日新聞に連載されていたエッセイ「残された日々」を90歳を超えて衰えない筆力に感心しながら、楽しみに私は読んでおりました。

「愛に始まり、愛に終わる」

「この世で誰かに出逢うことが“生きる”ということなんです」

「人間は孤独だと思います。唯一私に思想があるとしたら、それだけですよ」

「私たちは死ねば焼かれます。灰と骨になるだけです。でも人間の心っていうのはどこにあるか、みんなわからないでしょう。心は焼くことができないんです。そして、その魂が残るのね」

参考)『瀬戸内寂聴 108の言葉』宝島社刊より

中村吉右衛門さん (77歳)

歌舞伎俳優、中村吉右衛門さんが11月28日

死去の報がありました。

私などはテレビ時代劇、池波正太郎作の「鬼平犯科帳」シリーズで、中村吉右衛門演ずる火付盗賊改方、長谷川平蔵役の歌舞伎で鍛えた粋な仕草やセリフに魅せられてよく見ておりました。人間国宝、文化功労者、いっそうの円熟を期待されていたのに残念です。

中根千枝さん (94歳)

10月12日、死去されました。

中根さんの、日本社会の特徴をタテの論理で動いていると断じた名著「タテ社会の人間関係」は、今も日本社会研究の必読書に違いありません。中根さんと私は、第一生命財団、地域社会研究所の理事会で一緒でした。私は21世紀の日本社会を、「生命の網の目社会→タテからヨコへ」の変化として考察していますが、中根さんが2001年、文化勲章を受章された折に頂いた「タテ社会の人間関係」を改めて読み返しております。

2021年も、有名無名、知人や友人の訃報が多くありました。大阪ビル放火の死、コロナ禍では日本を含む世界大で莫大な無念の死の報告がありました。

新年、2022年がどのような一年になるのか、希望もてる年になってほしいものです。

2022.1.11